(学校番号49) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成小学校】

	4月27日		
	目標・策		
知識・技能	令和4年度さいたま市学習状況調査 (国語・算数) で、市平均正答率より4pt向上させる。	⇒	つまずきのある領域や内容に応じたブリントでの学習や 「ドリルバーク」等を積極的に活用し、児童が自分の学習 内容の理解度を把握し、支援する。4年生以上において、 自分の課題に応じた学習計画を立てる時間を学期に1回以 上設定する。
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査 (国語・算数) で、市平均正答率より4pt向上させる。	⇒	学習した内容を生かして課題に取り組むことができるように、言 語活動を設定する。自分の考えを発する際に、思考のプロセス がわかるように関や、資料を使って伝えられるように、資料の示 し方、声の抑揚や話すスピードなど基本的なスキルについて、発 遠段階に合わせて指導する。
主体的に学習に取り 組む態度	令和4年度さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・ 意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算 数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、令和 3年度の値より3pt向上させた値にする。	⇒	全ての授業において、児童とともに必要間のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。ICT機器を積極的に活用し、児童の興味関心を高める工夫をする。自分で自分の力を高める機会を設け、学期に1回以上設定する。

l	9月2日			
		中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	知識・技能	変更なし	⇒	
	思考・判断・表現	変更なし	⇒	
	主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	

(2)

8月26日

全国学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査結果・分析

国語において、学習指導要領の区分・領域ごと、評価の観点ごと、問題形式ごと、全てにおいて全国(公立)の平均正答率を上回っている。ただし、ほとんどの設問について、無回答率 (%) が全国(公立)の値より高くなっており、特に設問3三の漢字を交の中で正しく使うことに課題がある。文章を書く際に、既習の漢字を積極的に使用するとともに、「ドリルバーク」等を活用し、自分の漢字の習得状況に応じた漢字の書きとりの仕方を工夫するなど、「学び方」について充実を図っていく。

算数において、学習指導要領の区分・領域ごと、評価の観点ごと、問題形式ごと、全てにおいて全国(公立)の平均正答率を上回っている。ただし、設問 3 (1)、(2)の無回答率(%)が全国(公立)の値より高くなっている。条件にあたる数の求め方や、目的に応じたデータの考察について、生活場面 や、学級活動など算数以外の活動場面で活用することで理解を深めるようにしていく。

理科において、学習指導要領の区分・領域ごと、評価の観点ごと、問題形式ごと、全てにおいて全国(公立)の平均正答率を上回っている。ただし、設問 ごとにみると、設問2 (1) の平均正答率が低かった。実験の際に、基本的な器具の名称の確認を丁寧に行うなど、定着を図っていく。また、設問4 (3) の無回答率が高かった。結果から言えることの視点で分析する力を育成するために、授業の中で考察を行う時間の確保、実験結果をもとに話し合う 活動の充実を図っていく。

i				
	2月28日 さいたま市学習状況調査結果・分析			
	小3	国語・算数ともに市平均正答率を上回った。教科領域別でも、国語・ 算数ともに市平均正答率を上回った。生活習慣に関する調査では、 「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令和4年度の値より 低かった。また、「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令 和3年度の値より低かった。	小4	国語・算数ともに市平均正答率を上回った。教科領域別では、算数で市平均正答率を上回った。国語は、「読むこと」で市平均正答率を下回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」の青定的な回答が令和4年度の値より低かった。また、「算数の勉強は好きですか。」の青定的な回答が令和3年度の値より低かった。
		国語・算数ともに市平均正答率を上回った。教科領域別では、算数で 市平均正答率を上回った。国語は、「話すこと・聞くこと」で市平均 正答率を下回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好き ですか。」の肯定的な回答が令和4年度の値より低かった。また、 「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令和3年度の値より 低かった。	小6	国語・算数ともに市平均正答率を上回った。教科領域別では、国語で市平 均正答率を上回った。算数は、「データの活用」で市平均正答率を下回っ た。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」の肯定的 な回答が令和4年度の値より低かった。また、「算数の勉強は好きです か。」の肯定的な回答が令和3年度の値より低かった。

E	2月28日		
(5)	成果指標に対する達成状況	評価	(※)
知識・技能	どの学年においても、令和4年度さいたま市学習状況調査(国語・算数)で、市平均正答率を上回ることができた。		В
思考・判断・表現	どの学年においても、令和4年度さいたま市学習状況調査(国語・算数)で、市平均正答率を上回ることができた。		В
主体的に学習に取り 組む態度	令和4年度さいたま市学習状況調査 (学習) 関する関心、意欲、態度) における 「国語の勉強は好き ですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合が、令和3年度の値より下回った。		С

Ì	(6)	3月7日			
l		次年度への課題と改善策			
	知識・技能	課題解決に必要な知識や技能の定着を図るために、ドリルパークなどのICTを活用しながら繰り返し取り組む。			
	思考・判断・表現	思考・判断・表現の力を育成するために、「さいたま市『アクティブラーニング』型授業』を行い、各教科の見方・考え方を身につける。また、自分の言葉で伝えたり、話し合ったりする場面を意図的に設定し、課題解決に向けたグループやペアでの活動の充実を図る。			
	主体的に学習に取り組む態度	意欲的に学習に取り組む力を育むために、課題設定場面で、児童と話し合いながら単元計画を立てる場面を充実させ、活動と学びの両面から見通しをもたせる。			

※評価

A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)

B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)